



## 福岡県立西田川高等学校

### 生徒の自己肯定感を高める「チーム西田川」の取組

県立西田川高等学校は昨年度に創立100周年を迎えた、筑豊地区有数の伝統校です。「人権が尊重されている学校・学級づくり」に力を入れることで独自の強みを見だし、新しい魅力をもつ学校へと飛躍するべく、「チーム西田川」で改革を進めています。

#### 1 授業改善の目指す方向性

##### ○校訓

誠 自分に誠実であれ  
敬 礼儀をただし、人を敬う  
愛 自他を大切に

「人権が尊重されている学校・学級づくり」の視点に立ち、校訓である「誠 敬 愛」の精神をもった生徒の育成を目指し、一人一人を大切にする教育を行っています。

授業や学校行事などを通じて、生徒の学校生活への意欲を高める指導が積極的になされています。新築の管理棟と大規模改修を行った教室棟も生徒の自主的な学習や交流の場を考慮した造りとなっており、学習意欲の向上に大きな役割を果たしています。



職員室向かいの自学自習室

#### 2 授業改善の取組を支える組織力

ALの視点に立った授業改善を実現するため、各分掌がそれぞれの役割に基づき、リーダーシップを発揮して業務に当たっています。例えば、授業見学週間は教務部が中心となり企画・運営が行われています。全教員が「授業見学カード」を使って互いの授業を参観していますが、カードの表面には「『主体的・対話的で深い学び』という観点での良かった点」、「『主体的・対話的で深い学び』という観点での授業改善への提案」という項目が設けられ、裏面には「主体的・対話的で深い学び」についての評価の観点が記され、参観者が同じ観点で評価できるよう工夫されています。

西田川高校は、教員の平均年齢が40.6歳（管理職を除く）という、非常に若い職員構成です。若手教員とベテラン教員相互の力がうまく融合され、教員の個の力を生かしながら、チームとして指導を行う体制が構築されていることが、様々な取組で成果をあげている大きな理由となっています。



自由に活用できるフリースペース

##### 【主体的な学び】

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「主体的な学び」が実現できているか。

- 生徒が本時の見通しをもっているか
- 生徒が粘り強く取り組んでいるか
- 生徒が自己の学習活動を振り返っているか
- 生徒が次の学習につなげているか

授業見学カードに示された評価の観点

#### 3 AL型授業改善に向けた具体的な取組

##### (1) 少人数・習熟度別で「一人一人に手厚い学習指導」の実践

国語、数学、英語を中心に少人数・習熟度別（受講生徒が1講座当たり十数名）の授業を実施しています。

授業中は教員が生徒全員に目を配り、教員と生徒の対話が活発に行われています。また教員自作の教材模型が生徒全員に配布されるなど、一人一人を大切に丁寧な学習指導が実践されています。生徒が主体的に



生徒と教員の対話を重視した授業

学習に取り組む姿が今まで以上に見られるようになり、基礎学力の向上にもつながりました。

### (2) 観点別学習評価

「生徒を伸ばす評価」という視点での観点別評価の導入・活用が、生徒の自尊感情と学習意欲の向上、さらには「主体的な学び」の実現において効果的にはたっています。

生徒の立場から見ると、「自分がどのように評価されているか」を明確に示されることや、自分が努力したことが加点式で積極的に評価されていることが学習意欲の向上につながります。教員の立場から見ると、評価に基づいて一人一人の生徒に声掛けを行うことができるなど個に応じた指導がしやすくなることや、生徒に評価の規準を明確に示したことで生徒との信頼関係の構築が容易になったことなどが成果としてあげられます。教務主任は「生徒が頑張った分だけ評価する、当たり前前に生徒全員を（加点式に）しっかり評価する体制をつくりたい。」と話されていました。

### (3) 見通しと振り返りを重視する授業

「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、授業では「生徒が見通しをもてる工夫をする」、「振り返りの工夫をする」の2点に力を入れています。各教科担当者が、授業の開始段階で本時の学習目標を明確に示すことで、生徒が見通しをもって主体的に学習ができるようにしています。また、授業の導入段階で一つのテーマを投げかけて終末でそれについて生徒に発表させたり、自己評価を行わせたりするなど、生徒が授業を振り返ることで学習内容の理解を深められるよう、各教科で様々な工夫が行われています。下に記しているのはある日の授業で生徒に示された授業のねらいです。

【美術】 立体的なデッサン・・・「陰影を描く」描く前に光の方向を確認、質感の確認、大きさの確認  
【書道】 顔真卿の書・・・重厚な表現を目指す

ある日の授業で生徒に示された授業のねらい

### (4) ICT機器の活用

全教科でICT機器を積極的に活用した授業が行われています。例えば、「生物基礎」の授業では、顕微鏡カメラとプロジェクタによる画像の投影を行ったり、書画カメラで手元の画像を投影したりすることによって、顕微鏡の使用方法についての理解が促されました。

### (5) 安心・安全な学びの場づくり

学校で毎週行われる人権・同和教育部会で、細かく生徒の現状を把握しています。その会議での情報は全体で共有され、生徒の現状を常に全職員が把握できるシステムが構築されています。教科担当者はその情報に基づいて、生徒へ適切に支援をしながら教科指導を行っています。

## 4 導入の成果

### (1) 生徒の変容

基礎学力の向上、自己肯定感の高まりから学校生活に前向きに取り組む生徒が増加しています。生徒指導面で課題を抱える生徒が著しく減少し、地域からも学校の取組が評価されています。

### (2) 教員の変容

ALの視点に立った授業改善に教員が取り組む姿が学校全体で見られます。職員室のホワイトボードにAL型授業の実践を行う時に自主的に告知をすることや（写真）、県教育センターの基本研修の内容を学校内で共有するなど、自主的に授業改善を行おうとする気運が高まりました。

授業公開スケジュール			
授業日	科目	授業者の名前	授業の内容・ポイントなど
11/17	生物基礎	近藤	顕微鏡の使い方、細胞の観察
11/24	書道	近藤	顔真卿の書、筆の運び

授業公開のスケジュール

## 5 今後の課題

生徒全員の進路実現のためには、学力向上の取組が必要不可欠となります。希望する生徒が多い公務員や看護学校への就職・進学の実現に向け、その基礎となる学力を向上させるために日常の授業の改善を中心とした取組を充実させていかなければなりません。そのため、西田川高校のALのスタイルを確立すべく取り組んでいきます。